

五月二十二日 夕刊



発行所 新報社 印刷所 新報社 電話 二五五 郵政掛 二五五 郵便番号 二五五

常識講座

桂冠は名譽の月桂冠である事は誰も知る所だが月桂冠はローレル(月桂樹)の枝葉で作つた冠で古代ギリシヤに於て競技の優勝者に與へたもの樹は梓科に屬し香氣ある木である。

けふの届出

永山富廣(四七)民政再木材商 古銀治町 選挙事務長 本人 丸山春藏(四八)中立新土木業 南町 選挙事務長 本人

郡南方部鑑況

收蘭二割増加見込 勿來蘭糸市場組合では二十日春盤第一回鑑況を發表したがそれによれば掃立は十八日に終了、掃立量一萬二千グラムで目下の鑑見概況は頗る良好桑葉の發育も順調である、今年より二割増加の豫想、出廻りは來月十八日頃から開始され二十八日頃終了の見込みで同市場では大休八千貫を取扱ふ意氣込みである

あわび漁業に大馬力

江名町漁業組合では鮑漁期が近づいたので二十一日午後一時から組合事務所役員會を開き不況打開策として本年は特に鮑の養殖、採取に馬力をかけることを申し合せた

濱通柔道大會

磐中、平商出場 磐中及び平商柔道部では二十一日午後一時から相馬中學校で開催された濱通り中等學校柔道大會に各七名の正選手を送つたが磐中は十點、平商は五點を獲得した

農銀支店移轉

農工銀行平支店は従来の白銀町の事務所が狹隘なため二十一日三丁目元警備銀行跡へ移轉、今二十二日から同所で業務を取り扱ふことになつた

悪疫

平町野匠町六卯吉三村(サ)恒夫(三)は二十一日疫病と決定隔離さる

酌婦墮落

町料理組店齋藤留五郎方抱へ酌婦立花みどり(三)は十九日情夫と墮落したが平町に潜伏してららしいと二十二日抱へ主から平署へ捜索方を願ひ出た

一週一言

各地共に相前後して行はれる町村會議員改選の候補者なるものが其の多くは雨後の筍の様に發生してゐる、現狀果して自治行政上の發達の道程として思得る姿であらうか更に之れによつて自治が効用化されるかどうかを考へて見たく思はれてならない、

辭退をへした會川氏 盛返に躍起の久保町 昨日から再び戦陣を張る

平町字久保町では町議候補に推した會川延太郎氏の中途辭退で俄然波瀾を惹起し舉町結束の一廓の傳統に隣地候補の侵入を受け四分五裂の惡例は將來に禍を遺すものとして同區の爲めに遺憾視されてゐたが去る二十日夜區長宅に區民大會を開き九十余名の會同に町政友派を牛耳る井上茂作氏

廿名をねらふ政友 系統候補の懇談會 昨日二丁目の大村屋にて

平町政友系の各町議候補は昨日二丁目午後一時から二丁目大村屋旅館に會同選挙対策の打合せ會を開いたが同協議は豫ねて目標とする二十名の當選獲得が不幸にして所期の結果を見られぬ場合がある

郡選出縣會議員 赤坂毅一氏逝く 石城政友會の重鎮

郡選出縣會議員赤坂毅一氏は勢悪化したので殿父龜次郎翁既報の如く昨年来胃潰瘍のため上遠野村字上遠野の自宅で療養中、去る十七日頃より病

二百五十名のうち 十二名の豫選にパス 日本一の健康児探がしに 選ばれた平第一校田中君

平第一校では東京朝日新聞主催の日本一健康兒童探に六年一組田中忠太郎君を申請したが二十日福島縣廳で開かれた第一次審査會及び第二次豫選を見事にパスし全縣下二百五十名の選抜兒童のうち十二名の入選兒童の中に選ばれた十四日開かれる縣下の最後の審査會に出席することに決定した旨同校へ通知があつたので會我校長以下大喜びで二十四日の審査會には會我校長自ら忠太郎君を引率出席することになつた、尙郡下では忠太郎君の外に勿來校井桁靜夫、内郷校鈴木國雄の兩君が同じく十二名の中に選ばれた

好間村に老強盗 出入を揮つて一物も得ず 逃げる所を捕まる

二十二日午前一時頃好間村大字中好間字川中子植木木田幸平方表戸を打破つて風呂敷で覆面し刃渡八寸の出刃短刀を携へた一名の賊押し入り金品を物色中を物音に目を醒ました幸平妻きん(四)が泥棒と叫ぶと伴の賊は矢庭に出刃を揮つてきんの右肩を突きさし昏倒するを見て逃走せんとする所を幸平が追ひすがつて格闘する

吉田大尉講演 平町の海軍記念日 在郷軍人平町分會海軍班では

二十七日の海軍記念日に海軍大學甲種學生吉田英三大尉、泉村出身)を招聘し左の如く講演會を開く 午前八時開中、九時半終女 十一時半閉、午後六時半閉 會議室 軍人分會役員會 在郷軍人 平町分會では二十二日午後七時から藤田分會長宅で役員會を開き二十七日の海軍記念日行事を協議する

飯野産業組合 愈々設置に決定 飯野村産業組合設立委員會は

二十日午後一時から小學校で開催、村有力者五十餘名出席協議の結果、萬場一致で組合設立の決議をなす直ちに準備にかゝることとなつた

縣外視察員決定 産業組合石城郡部會では二十

二日から一週間の豫定で左記組合幹部を長野東京方面に事業視察のため派遣する 四家主事(江名) 鈴木事務 理事(糸窪) 渡邊理事(草野) 永山書記(渡邊) 齋藤 組合長(泉) 川中書記 齋 書記(植田) 櫻村事務理事 (赤井)

酌婦墮落 郡山市柳 町料理組店齋藤留五郎方抱へ

酌婦立花みどり(三)は十九日情夫と墮落したが平町に潜伏してららしいと二十二日抱へ主から平署へ捜索方を願ひ出た

産業方面

副業の常識(八)

東農大出身 鈴木技師

九、離巢

白色レグホンの様な卵用種の巣に就くことはないけれども名古屋種やブリモスロツクの様な兼用種や肉用種はよく巣に就く性質をもつてゐる、巢につくと産卵しないから極めて不経済であるが、然し此の性質を全く無くする譯には行かぬ、只その徴候が現はれたとき速に発見して矯正することは可能である、元來就巢は一と月遅れて発見すればそれだけ就巢性が高まるものであるから矯正し難くなるのである、故に羽を逆立てたり夕方産卵箱に就寝してゐる様な徴候を発見次第全くその部屋の見えない方向の隅つてゐる明るい部屋に移し大麥や小麦の水つけしたものと青葉を給すると大概二、三日で巢念を忘れて夕方充分抱食するようになる、

一般に農家に行はれてゐる方法は鶏を苦しめるのが多い様だがそれは假令巢念が断つても衰弱して元気がなくなるから余程産卵までに日時を要するもので結局永らく就巢させたと同一の結果になるのである、この離巢法は特に注意すべきは鶏を水に浸すと良いといつて一日に数回行ふものがあるがこんなことをすると鶏の肛門が水を吸収して腹内に這入りそれが爲め死に導くことがあるからやめ方がよい

(二)、産巢中の管理
冬季産巢中には防寒の設備

を施し彼等に暖をとらせることが大切でこれを怠ると感胃やデフテリアの様な病弱を出し失敗することが多い故に次回に述べる諸項を特に注意してこれを實行し満全を期せられたい、



油問屋 關内油店

支店 郡山市駅前通 電話長八二三
支店 茨城縣關本驛前 電話長平海七三
油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

モビル油
日本株式会社
石油株式会社
特約販賣

電話長 16

サロンは御家庭の延長

御料理本位のサロン

これからの御飲物
フルウツ
ボンチ
二二十五錢
コール
コーヒ
十五錢
一度當店のものを御試飲を乞ふ

佛蘭西料理 平町三丁目 電話三五二

移轉開業披露

謝恩の大奉仕

最新式 オリエンタル式寫場
念ふ完成致しました
来る廿七日まで

定價の半額で撮影

三光館寫眞場

平町町大通り役場角
電話(呼)二五四



お手不足な御家庭に家政婦を派出いたします

本會は(お互に働かせようと云ふ健全な婦人同志が相寄つて皆様の御便宜を勤めます爲に出来ました団体です)

！ご利用下さいませ！
妊産婦の御家庭、御病人の御家庭
お炊事や雑用、お留守居番
お年寄やお子供さんの付添、
親切に 料金は一ご面談の上お望みに添ふ様丁寧に 経費向に相談致します

平町字紺屋町二 電話(呼)六五二
會長(産婆) 上原通子

上原家政婦會

クスのりの調合 平町五丁目角
化粧品
體溫計 山野邊藥局

郷土生薬の研究

和漢藥療法の研究

顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生指導
東華皇漢藥研究所
主任 藥劑士 山野邊東次郎

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社

カフエータヒラの食堂

ムラサキの藤の房

天井一面に擴がる天然木の見事さをご覽下さいませ、
そしてほがらかな女給さん達を御相手にお休み下さいませ

カフエータヒラ

平町前 電話六二〇番

煙突は 朝日
石綿セメント製
程す晒に露雨
煙突は 強く長く 突煙

絶対に 煙突は 朝日
経済的で 突煙の心配がない

金屋商店

大森醫院

内科 小兒科
醫學士 大森 勇
平町町 電話二五八番

多田井質店

債券 公債 兩替 金融
平町大工町 電話五九一番

平町會議員候補者

關内正一君

推薦者 平町二丁目(順不同)
鈴木 堅助 田卷造酒之助
三井 文吉 石川友次郎
丹野榮三郎 關内慶次郎
坂田 藤助 長瀬延太郎
里見金太郎 責任者平町二丁目 十三 丹野榮三郎

町會議員候補者

馬目武之助君

推薦者 平町五丁目一〇 丹野周一郎

推薦廣告

来る卅日執行せらるべき町會議員選舉に際し磐陽野球會の恩人 吉田金作氏には舊城跡、八幡小路兩區の熱誠なる推薦により逐鹿戦場に出馬決定され候、御承知の如く同氏は三十余年我海運界の身を置き日本郵船會社の名船長として東西兩半球の貿易港に足を印せざるなき國際人たるのみならず殊に歐洲大戦當時はコレヤ丸船長として獨逸エムデン號の慘禍におびゆる歐洲航路に幾度の航行を重ね何等禍なきを得たる剛勝の人士に御座候、今や功なり名遂げ悠々故山に自適する境涯にありながら郷土愛に燃ゆる同氏が磐陽野球會上の爲に貢獻せる功績は吾等フアン一同の感激する所に御座候、如斯大陸的な氣宇と眞摯なる信念を持つ純情の郷土人こそは町會の淨化を計る最適任者として推挙するものに御座候、日進歩進展の途上に在る平町政刷新の爲め又磐陽野球會向上の爲にも實に重大なる意義を有する事なれば御賢察被下大多數を以て當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助賜り度懇望する次第に御座候 敬具

磐陽野球後援會有志

阿部政右門 井坂 久吉
新田目春松 熊 謙次郎
柴田 徳二 高木忠三郎
石川友次郎 外幹事一同
責任者 福島縣平町長橋町七 高木忠三郎